

3/5
2012年第1100号
(毎月5、15、25日発行)

大阪府歯科保険医協会
大発行人 志岐 幸
大阪府浪速区幸町1-2-33
電話(06)6568-7731(代表)
http://osk-net.org/
●定価・年間10,000円 月1,000円
●1977年5月23日第三種郵便物認可

2月診療分から縦覧点検

基金、電子請求の審査を強化

4月から算定日記記載義務化

政府・厚労省の医療費抑制政策を背景に、保険医療機関への審査・指導が厳しさを増している。最新動向を社保研究部が解説する。1回目は、電子請求の医療機関を対象にした突合・縦覧点検とレセプトへの算定日記載について報告する。今回は、近畿厚生局への情報開示請求で明らかになった指導内容について解説する。

電子請求によるレセプト

突合・縦覧点検が、3月審査(2月診療分)から開始される。保険者による突合・縦覧点検も同時に始まる。

審査・指導 最前線

これまで、縦覧点検は保険者で実施され、支払基金に再審査請求されていたが、今後は支払基金が原審査で実施することで、より点検が強化される。

突合点検

突合点検は、処方せんを発行しているレセプトについて、同一患者の同月内分を医療機関と調剤薬局とで照らし合わせ、病名漏れや適用外使用がないかなどを調べる。

縦覧点検

縦覧点検は、同一の医療機関の同一患者に関するレセプトを複数月にわたって照合する審査。歯周治療から補綴への移行や歯管での再初診を起す日数の点検など、突合点検より影響が大きい。

今年1月未現在で、全国の歯科医療機関の43%が電子請求医療機関となっている。

講師・矢谷博文氏(大阪大学大学院教授)

診療報酬改定で適用拡大 4月に接着ブリッジ講習会

2012年度診療報酬改定で接着ブリッジの適応範囲が拡大されることを受け、臨床学術部は4月22日の生涯研修講座で「接着ブリッジ～最小限の生体侵襲による効果的な少数歯欠損補綴法」を開くことを決めた。講師は矢谷博文氏(大阪大学大学院歯学研究科教授)。(3面に抄録)

改定では、これまで前歯部にしか認められなかった接着ブリッジを臼歯部まで拡大することが決まっている。

日時 4月22日(日) 午前10時～午後1時
会場 M&Dホール
会費 会員3千円、会員院所未入会 勤務医1万円
定員 100人

所見なきカルテ 提出と同一

突合点検・縦覧点検と連動して、今年4月診療分から、電子請求医療機関は、請求する各点数の算定日をレセプトに記載することが義務付けられる。

歯科では、歯周治療の処置と検査など一連の治療の流れ、算定の順序が問われる項目では、点検がより一層厳しくなることが予想される。

レセプトへの算定日記載は、2010年度診療報酬改定で、12年4月から電子請求の医療機関を対象に義務化することを決めていた。

会員の弔慰について

速やかに協会事務局まで 管理部

大阪府歯科保険医協会は会員を対象に、社会慣習に従った弔慰をおこなっています。ご本人の死亡や家族(1親等)の死亡、診療所または自宅が火災・水害の被害にあわれた時は、速やかに協会事務局までご連絡ください。

署名お礼ポスター

今号に同封、活用を

「保険で良い歯科医療」を求める署名に
ご協力
ありがとうございます
ごさいました

院長

「保険で良い歯科医療」の実現を求める請願署名が2月末で終了したことを受け、協会は署名結果とお礼を患者に伝えるポスターを作成した。今号に同封し、会員に届ける。ポスターでは、院長名で署名への協力のお礼を述べ、①受診時定額負担②70～74歳の窓口2割負担の実施がそれぞれ見送りになった成果を報告している。

社保研究部 12年改定書籍を順次発行

会員には1冊無料で送付

協会は2012年度診療報酬・介護報酬改定に伴い、書籍『2012年改定の要点と解説』、『歯科点数数早見表』、『2012年改定の要領』、『歯科保険診療の研究』を順次発行し、会員に届ける。

改定の要点と解説』、『歯科点数数早見表』、『2012年改定の要領』、『歯科保険診療の研究』を順次発行し、会員に届ける。

地区説明会を9カ所で開催

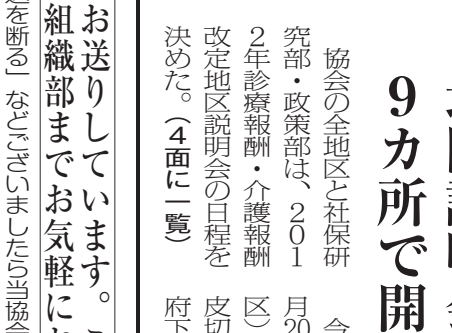
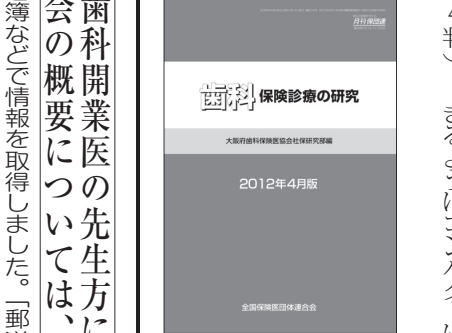
一覧4面

協会の全地区と社保研究部・政策部は、2012年診療報酬・介護報酬改定地区説明会の日程を皮切りに、4月21日まで府下九つの会場で開く。

各説明会とも、参加費は会員無料、会員院所の未入会勤務医は1万円を受講できる。未入会歯科医師は参加できない。協会は個人会員制の組織のため、院長代理での参加は認められない。

PR増刷号

今号は大阪府下の全歯科開業医の先生方にお送りしています。この機会にぜひ協会にご入会下さい。ご入会、協会の概要については、組織部までお気軽にお問い合わせ下さい。



今改定の説明会は、3月20日に御堂会館(中央区)で開く中央説明会を皮切りに、4月21日まで府下九つの会場で開く。

参加希望の会員は必ず事前にお申し込みください。予約せずに会場にお越しの場合、入場をお断りすることがありますので、ご注意ください。

おことわり

協会の社保担当事務局員は、4月中旬まで改定書籍『歯科保険診療の研究』『要点と解説』の製作業務で事務所を離れます。お問い合わせは出先から折り返しの対応となります。

歯界

こう寒い日が続くと、もと天病人の妻は昼食に出かけるのも辛いらしく、「出前でも取ろうか」と言う。行き付けの中華料理店では、単車で出前しているのを常々見かけている。「あほ言な。出前する人は寒くないんか、自己中や」と偉そうにたしなめたまでは良かったが、「金払う方が殿様で、自分の便利を優先して他人の辛さを想像できぬ東京の人間みたいや」とは余分だった。「大阪の人は思いやりがあって、東京人は悪ばっかりか、そりゃ差別や偏見や」と逆襲を受ける羽目になった。

巨人と中央のキャリア官吏が嫌いなだけで、東京人に悪意も偏見もないから、誰にも謝る気はないが、東京人から大阪人に偏見を持つのがいる。夏目漱石の『坊ちゃん』の頃は、箱根から西にはお化けが住むとの言い伝えがあったようだ。

新幹線で東京が近くなったと思ったら、今度はインターネットの普及で東京人と面接する機会も必要性も減ってしまった。